
創刊を祝して

自治省消防庁長官

関根則之

この度、財団法人消防科学総合センターの機関誌「消防科学と情報」が創刊されるに当たり、心からお祝い申し上げます。

財団法人消防科学総合センターは、火災、災害等に関する科学的調査研究及び情報資料の収集分析並びに消防研修に関する調査研究等を行なうために昭和57年に設立されて以来、着々とその体制を整備するとともに、各種調査研究事業をはじめとして数多くの輝かしい成果を挙げておられることに対し深く敬意を表する次第であります。

さて、我が国の消防は、昭和23年に自治体消防として発足して以来、施設、設備等各般にわたり着実な整備をみてきており、今日においては、住民生活の安全確保の担い手として、住民から高く信頼され、かつ、期待される存在となっております。

しかしながら、最近における社会環境の変化に伴い、災害の要因は複雑多様化し、また、その危険性も増大してきており、私ども消防関係者は、これらの新たな情勢の変化に的確に対処し、科学的かつ、より強力な消防防災体制の確立を図っていくことが急務とされているところであります。

このような観点からも、消防に係る科学的な調査研究機関としての財団法人消防科学総合センターに対する期待は、益々大きなものとなってきております。

さらに、同センターにおける最新の研究成果や技術情報を、消防関係者に広く周知されることが強く望まれているところであり、今回、この「消防科学と情報」が創刊され、同センターにおける調査研究成果に関する資料をはじめとして、幾多の貴重な情報が地方公共団体及び消防防災機関等に提供されることは、消防防災業務の推進向上に大きく貢献するものと確信しております。また、同時に同センターと地方公共団体等との連繋の緊密化を図る意味においても、誠に時宜に適した企画と考えるところであります。

この「消防科学と情報」の創刊を契機に、私ども消防関係者は、住民生活の安全確保に向けて、より一層強力な消防防災体制を確立していく必要があります。このため、私も全力を尽くして参る所存であります。

最後に、財団法人消防科学総合センターの益々の発展と、本誌の発行が、地方公共団体並びに消防関係機関の貴重な情報源として活用されることを切に祈念して、お祝いの言葉といたします。